

3 湯屋谷町並み



懐かしい日本遺産の町並み

山あいの集落に関わらず、大きな茶問屋や茶農家が軒を連ねる町並みがあり、現在もその姿を色濃く残していることから、湯屋谷一帯は永谷宗円生家とともに「日本遺産」の構成資産に認定されました。

map / E-2

4 永谷宗円生家



日本の緑茶、ここから始まる

「青製煎茶製法」を編み出した永谷宗円の出生の地。湯屋谷の奥地にある宗円の出生地では、生家が復元され、茶葉の製造に使った焙炉跡を見ることができます。

map / F-2

5 茶宗明神社



お茶業者も訪れる茶の聖地

永谷宗円の功績をたたえ、昭和29年(1954)茶宗明神として合祀。現在も根強い信仰を集める氏神として、また、全国の茶問屋、茶農家などの茶に携わる人々に親しまれています。

map / F-2

6 松峠



難所松峠は、昔ながらの古道

松峠は、東西の信楽街道と南北を結ぶ瀬田道が交わる要衝の地です。旅籠跡と言われている場所もあり、昔ながらの古道は家康一行の苦労が偲べれます。

map / G-2

7 正寿院 (猪目窓)



かわいいハートは魔除けの印

猪目(いのめ)とは、ハート型であり古来から伝わる日本伝統文様の一つです。猪目窓は、四季によって色が変化する季節の移ろいを楽しめます。

数珠づくりや写経・写仏、ヨガやお茶会など、季節に応じて様々な体験が催されています。

体験要予約

電話:0774-88-3601 map / G-2

8 遍照院



家康が休息をとった歴史ある寺

「伊賀越え」道中に家康が立ち寄ったと伝えられています。境内にある鎌倉時代の無縫塔は町指定文化財です。3月下旬に紅梅の古木が花を咲かせます。

map / H-2



精華町

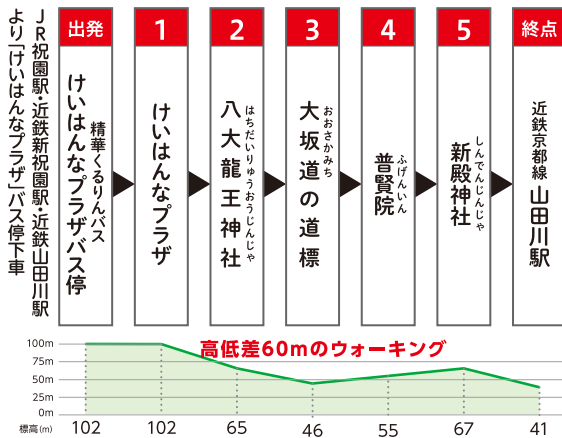
約5km

約62分

228kcal

戦国と令和の交差を感じて歩く

ウォーキングコース 一例



1 けいはんなプラザ



けいはんな学研都市の中核施設

京都府立けいはんなホール、ホテルや、多くの研究者が入居するラボ棟、スーパーラボ棟などが集合。レストランや日本料理店、銀行や郵便局もある大型複合施設です。

map A-1

2 八大龍王神社



再建された神社

乾谷地区金堀にあり、元は個人の家で祀られていました。のちに絶家により放置され荒廃していましたが、昭和22年(1947)5月24日に山田荘小学校の奉安殿の建物を本殿として使用し再建されました。

map B-2

3 大坂道の道標



伊賀の国に続く道

国道163号線の旧道がかつては「大坂道」と呼んでいた。本能寺の変の時、家康がこの道を使って伊賀の国へ出たと伝えられています。

map C-2

4 普賢院



「不許酒肉五辛入門内」の碑

門前に「不許酒肉五辛入門内」の碑があります。創建などは不詳ですが、明治16年(1883)、近くの長福寺を合併。寄棟造のお堂と庫裏は、ともに朽ち果てたので、20年ほど前にブロック建ての祠がつくられました。

map C-2

5 新殿神社



京都の自然200選

古くは植樹神社と呼ばれ、京田辺市の朱智神社から祭神を迎えたと伝わります。シイやカシなど常緑広葉樹の森のなかに参道があり、境内は「京都の自然200選」に選ばれています。

map C-2



精華町経由で、一路三河へ

本能寺の変による家康決死の「伊賀越え」。三河帰還の際には、精華町山田地区を経由したことが『徳川実記』に記されています。これをもとに、小説などにも書かれているのです。

桜並木の散歩道

map B-2・C-2

約800mの桜並木が続く道。山田川沿いに見える桜の風景が美しい散歩道です。

国立国会図書館関西館

map A-1

精華町にある国立国会図書館の関西館。高度情報化社会に対応した「電子図書館」の機能をも盛り込み、平成14年(2002)10月に開館しました。ガイドツアーやイベント等も実施しています。

※18歳未満利用不可



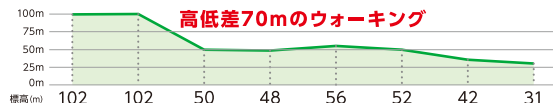
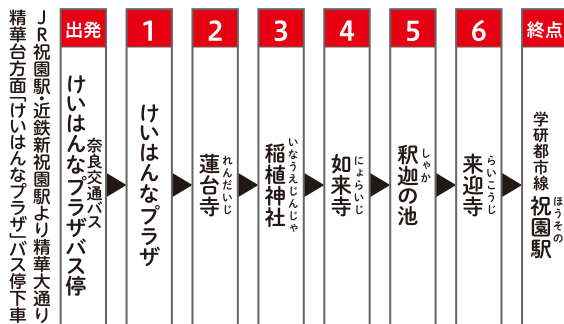
精華町

約5.4km

約**67**分
246kcal

家康、近松、寛次郎ゆかりの地

ウォーキングコース 一例



2 蓮台寺



町指定文化財の薬師如来像

文禄2年(1593)、寺号を青蓮庵から蓮台寺に変えたと伝わります。境内の薬師堂には町指定文化財の薬師如来立像が、本堂には四宮神社ゆかりの延命地藏菩薩立像が安置されています。

map B-1

3 稲植神社



京都八坂神社の元

南稲八妻・植田両地区の氏神。伝承によると、元祇園(京都八坂神社の元)と伝わるほど、古い歴史があります。家康一行が立ち去る時、焼き払われたと伝えられています。

map C-1

4 如来寺



明治元年に消失

寺歴については不明で、明治元年(1868)に消失するまで家康の位牌が保管されていました。明治20年(1887)頃に現在の地にお堂が建てられました。地元の有志の方が護っています。

map C-1

5 釈迦の池



河井寛次郎お気に入りの場所

植田地区の中にある池。陶芸家・河井寛次郎が足しげく通った精華町一帯のなかでも、お気に入りの場所であったことが日誌からうかがえます。

map C-1

6 来迎寺



お千代と半兵衛の墓

天平勝宝元年(749)、僧行基が開いたと伝えられています。江戸時代の浄瑠璃・歌舞伎作家の近松門左衛門が書いた『心中宵庚申』の主人公お千代と半兵衛の墓や、源定平卿の墓「上人塚」があります。

map C-1



精華町植田地区と徳川家康

家康については、大坂の陣の際、如来寺で農民に看護を受けた説と、本能寺の変の際、植田村を通ったところを敵に襲われたが、無事だったという説があります。また、如来寺消失まで保管されていた家康の位牌は現在、来迎寺に保管されています。



A けいはんな記念公園

map B-2

けいはんな学研都市の建設を記念する公園です。日本の里の風景をテーマにしており、水景園(日本庭園)などを楽しめます。季節の行事も盛りだくさんです。

